

平成 27 年度  
安全報告書



平成 28 年 9 月 報告

 大井川鐵道株式会社

# 1. ごあいさつ

平素は大井川鐵道をご利用いただきまして誠に有難うございます。  
また、当社事業につきまして日頃よりご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

大井川鐵道は、お客様に安全な輸送サービスを提供するために、現場から経営トップまでが一丸となって安全意識・技術の向上に努め「安全・安心」を基本に地域に根ざした交通事業の提供に努めてまいりました。

平成27年度は大井川鐵道グループの安全方針とサービス改善に関する方針の統一を行い、「重大事故ゼロ・重大インシデントゼロ」の継続を達成しました。

今後も、これまで以上に安全運行に関しての取り組みの強化を行いながら、より快適にご利用いただけるよう総合交通サービス業としてさらなる努力をしてまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、大井川鐵道における輸送の安全確保への取り組みや事故等の発生状況と再発防止策についてまとめたもので、皆さまに広くご理解をいただく為に作成いたしました。

ご利用になる全てのお客様と沿線にお住いの方々にご理解をいただくと共に、皆さまの声を今後の安全輸送に役立てたいと考えております。

ご覧いただく中で、皆さまからのご意見を頂戴できれば幸いです。



大井川鐵道株式会社  
代表取締役社長 前田 忍

## 2. 基本方針と安全目標

### 1. 基本方針

当社は、安全第一の意識をもって輸送の安全を確保するための管理の方針その他事業活動に関する基本的な方針を定め、安全の確保に関する業務の実施状況等を踏まえ、必要に応じて見直します。

なお、次のように「行動規範」を掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともに、これを順守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり推測に頼らず、確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に努めます。

### 2. 安全目標

「鉄道運転事故ゼロ」の継続



## 3. 平成27年度 安全重点施策の実施結果

安全性向上および安全目標を達成するため、安全管理規程に基づいて策定した平成27年度安全重点施策の実施結果は、以下の通りです。

### 1. 経営管理部門

#### (1) 労働災害軽減指導の実施

労働災害軽減のため指導を実施しました。平成28年度も労働災害軽減を目指し、指導を強化いたします。

#### (2) 幹部による職場巡視の実施

年末の閑散期において職場巡視を実施し、各職場からの意見集約を行いました。また年間を通して各職場からの意見集約を行いました。平成28年度は設備投資に関する目標を掲げ、計画を実施してまいります。

#### (3) ヒヤリハット報告の環境づくり

鉄道管理会議において、各職場からの聴き取り調査を実施すると共に、社員全員に対してヒヤリハット報告の重要性や、必要性についての講習会を開催しました。平成28年度も継続して各職場からの自発的な報告を促すと共に、鉄道管理会議並びに安全衛生委員会での検討を実施してまいります。

### 2. 乗務区（本線・井川線）

#### (1) S L列車における途中停車駅及び終端駅での状態確認の徹底

蒸気機関車の状態確認の徹底ができました。平成28年度は入換作業時における操車係員との連絡打合せをさらに強化してまいります。

#### (2) 落石・倒木処理等の列車の途中停車時における安全確認の徹底

途中停車時における安全確認の徹底ができました。平成28年度も引き続き途中停車時における安全確認をさらに強化してまいります。

### 3. 管理駅（本線・井川線）

#### (1) ホーム内の旅客安全確認と列車進入進出時及び発車時の安全確認

ホーム内の安全確認、入換作業時の指差確認喚呼を励行できました。平成28年度は身だしなみや接客態度の高揚に努めてまいります。

(2) 入換作業時における確実な進路確認

運転士に進路の状態を確実に伝達しながら作業を実施しました。平成28年度は入換作業前の打合せをさらに強化してまいります。

(3) 駅構内における旅客の安全確認の徹底

構内放送による注意喚起を実施しました。平成28年度も引き続き駅構内における旅客の安全確認を徹底してまいります。

#### 4. 運転指令（本線・井川線）

(1) 異常気象・輸送障害時等における状況把握と適切な運行指示、確実な閉そく機器の取り扱い

輸送障害発生時における適切な運行指示、関係各所への連絡は徹底されており、報告も徹底できました。近年の異常気象に対応するため、平成28年度も引き続き、状況把握と適切な運行指示、閉そくの取り扱いを確実に行ってまいります。

(2) 雨天時及び強風時における計測機器の確認と情報伝達の徹底

計測機器の確認と情報伝達を徹底することができました。平成28年度は雨天や夜間の入換作業時における安全確認の徹底に努めてまいります。

#### 5. 車両区（本線・井川線）

(1) 車両故障の低減

平成27年度の車両故障件数について、本線は18件（うち輸送障害は3件）、井川線は4件（輸送障害は無し）で、本線は前年に比べて4件増、井川線は1件減でした。

平成28年度も車両故障の更なる低減に努めてまいります。

#### 6. 電気区および通信班（本線・井川線）

(1) ヒューマンエラー「ゼロ」

平成27年度の電気施設の故障件数は、本線は6件（うち輸送障害は2件）でした。本線は前年に比べて3件減でした。停電や落雷によるものでしたが、電気係員に起因する障害や労働災害の発生は無く、平成28年度も引き続きヒューマンエラーゼロを目指します。

(2) 施設故障の低減

平成27年度の井川線における電気施設の故障件数は0件でした。

平成28年度も引き続き、施設故障の発生低減に努めてまいります。

## 7. 保線区（本線・井川線）

### (1) 線路巡視および落石危険箇所等の点検強化

平成27年度の本線における落石（崩土を含む）や倒木発生件数は23件（うち輸送障害は1件）で、前年に比べて3件増でした（輸送障害は3件減）。

井川線における落石（崩土を含む）や倒木発生件数は10件（うち輸送障害は4件）で、前年に比べて2件減（輸送障害は増減無し）でした。

落石においては風雨による原因だけでなく、獣による落石が近年増加傾向にあるため、平成28年度も落石危険箇所の点検を強化してまいります。

## 4. 事故等の発生状況とその再発防止措置

### 1. 鉄道運転事故

平成27年度は、鉄道運転事故は0件でした。

なお、過去3年間の鉄道運転事故の発生件数と死傷者数の推移は、次の通りです。

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事故件数	0	1	0
死傷者	0	0	0
うち死亡者	0	0	0

### 2. 災害（土砂崩落）

平成26年9月2日に発生した、井川線の尾盛駅～閑蔵駅間の崩土災害の復旧工事により、接叺峡温泉駅～井川駅間の運転を取りやめ、千頭駅～接叺峡温泉駅間の折り返し運転を実施しております。利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。なお、復旧工事は平成29年1月頃に完了する見込みです。（平成28年9月現在）



### 3. 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

平成27年度は、設備故障が2件、倒木等の自然災害が5件、車両故障が3件、合計10件の輸送障害が発生しました。

今後も設備、車両の点検強化、線路巡視の強化、法面の点検および計画的な危険木の除去を行い、安全運行に努めてまいります。

### 4. インシデント（事故の兆候）

平成27年度において、中部運輸局（国土交通省）へのインシデントの発生報告はありません。今後も引き続き事故の防止に努めてまいります。

## 5. 輸送の安全確保のための取組み

輸送の安全確保のために、下記の安全対策を行いました。

### 1. 整備事業等の実施

#### 【大井川本線】

- ・連動装置の更新（新金谷駅の信号保安設備）
- ・レールの重軌条化（五和駅－神尾駅間、駿河徳山駅－青部駅間）
- ・分岐器の重軌条化（千頭駅構内）
- ・橋梁の枕木更換（大井川第四橋梁）
- ・トンネルの補強（田野口トンネル）
- ・重要部検査に伴う台車整備および電動発電機（MG）整備

#### 【井川線】

- ・軌条交換 270m
- ・枕木更換 1,783本
- ・総搦き固め 5,000m
- ・軌間整正 5,103m

## 2. 経営幹部による職場巡視

年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施期間中に、会社幹部による各職場の巡視を行い、安全輸送に関する訓示を行うとともに、職員への安全意識の高揚に努めました。



## 3. 鉄道管理会議の実施

毎月1回、運輸部門、施設部門、営業部門合同による作業計画、営業計画の確認を行い、相互の連携を図っています。

特に繁忙期の前やイベント等の計画時には、輸送の安全に留意して綿密に打ち合わせを行っております。

## 4. 訓練

平成27年12月に乗務員を対象に、非常処置訓練を行いました。

事故発生から復旧までの間の確認方法等の基本動作の確認や指導を行いました。



## 5. 安全のための投資

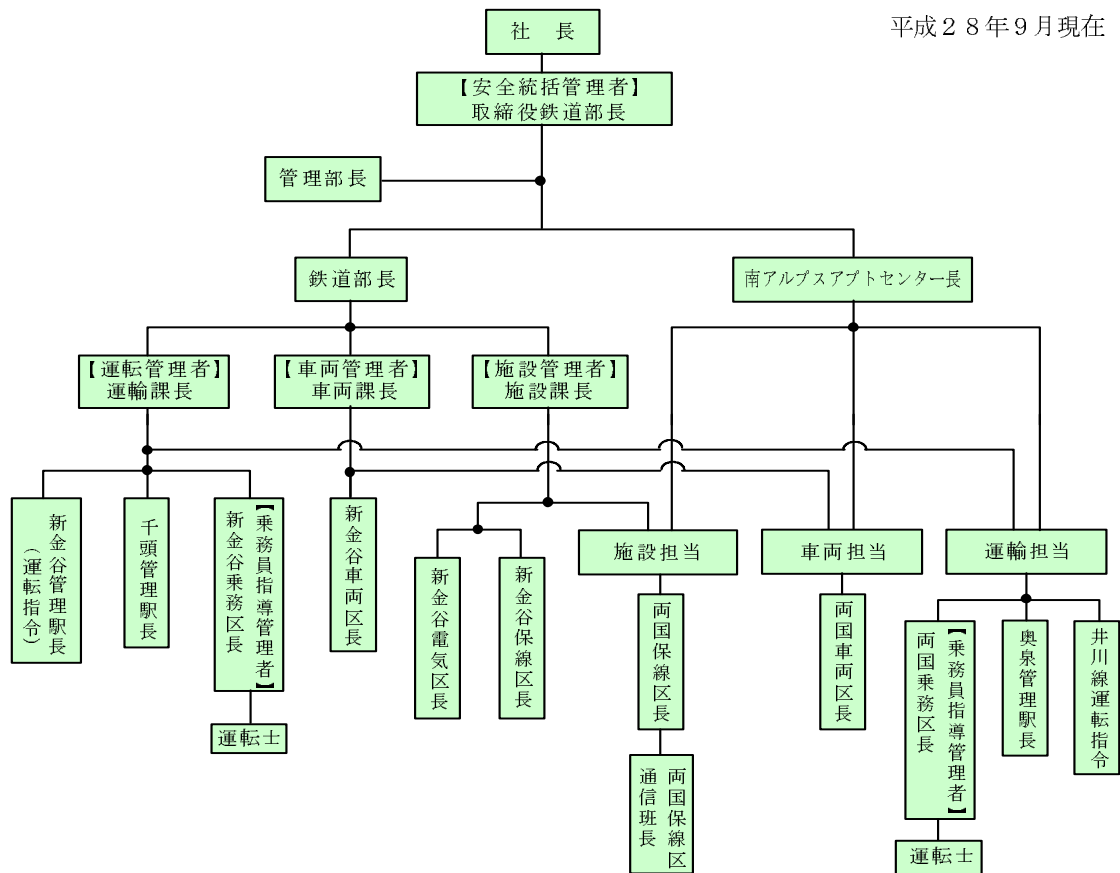
平成27年度の施設・車両などへの安全関連設備投資額は、134,669千円でした。



## 6. 当社の安全管理体制

平成18年10月に安全管理規定を策定し、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で各管理者それぞれの責務を明確にし、安全確保のための役割を担っています。

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
取締役 鉄道部長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運 輸 課 長 【運 転 管 理 者】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
新金谷乗務区長および 両国乗務区長 【乗務員指導管理者】	運転管理者の指揮の下、所属する乗務員の資質の維持に関する事項を管理する。
施 設 課 長 【施 設 管 理 者】	安全統括管理者の指揮の下、土木施設および電気施設に関する事項を統括する。
車 両 課 長 【車 両 管 理 者】	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。



## 7. 沿線の皆様へのお願い

### 1. 踏切事故防止について



春・秋に実施した交通安全運動の一環として、踏切を通行するドライバーや歩行者に対して、また新金谷駅にて鉄道利用のお客様に対して安全確認の協力を呼びかけ、安全啓発グッズの配布を行いました。また新金谷施設区において、島田・榛原地区のボーイスカウトの皆様に対して、踏切の模型を使用した啓発活動を実施し、安全な踏切の通行を呼びかけました。

踏切では必ず一旦停止して左右の安全を確かめてください。また、警報機が鳴ったら踏切内に進入しないでください。万が一、車が踏切内に閉じ込められたときは、車で遮断竿を押して脱出してください。

踏切およびその付近で異常を発見した場合は、お手数ですが警報機に取り付けてあります緊急連絡先まで、ご連絡下さいますようお願いいたします。

### 2. 夜間作業のお願いについて

鉄道工事は、安全を確保するために夜間作業となることがあります。沿線の皆様にはご迷惑をおかけすることがございますが、可能な限り静かに、短期間に行うよう努めてまいります。何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 8. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒428-8503 静岡県島田市金谷東2丁目1112番地の2

### 大井川鐵道株式会社 鐵道部

- ・電話 0547-45-4113
- ・FAX 0547-45-4115  
(月～金 9:00～17:00、年末年始を除く)
- ・メール [unyu@oigawa-railway.co.jp](mailto:unyu@oigawa-railway.co.jp)
- ・Web サイト <http://oigawa-railway.co.jp/>

